

フタオビコヤガ (green rice caterpillar)

Naranga aenescens Moore



フタオビコヤガ幼虫
(鳥取県農業試験場原図)



フタオビコヤガ幼虫による初期被害
(鳥取県農業試験場原図)

発生生態

成虫の翅を広げた長さは7～11mmで、黄褐色の翅には、暗褐色の2本の横帯があります。幼虫は淡緑色のシャクトリムシです。幼虫は葉の上に生息し、比較的簡単に見つけることができます。若齢幼虫はカスリ模様に食害し、中齢及び終齢幼虫は、階段状に葉を食害します。山間、山沿い、堤防沿いなどの風通しの悪い田んぼで多く発生します。

防除対策

殺虫剤による防除が効果的です。イネの葉がカスリ模様に食害された、若齢幼虫期が防除適期です。風通しの悪い地域や、過繁茂の田んぼでは多発しやすいので、肥料をやり過ぎなどに注意しましょう。